

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
教育学	4年次	必修	講義	2単位（30時間）	滝沢 和彦
授 業 概 要					
<p>受講者が将来栄養関連分野において、特に栄養指導等を行う際に必要とされる教育学の基本的知識や技能の習得を目指す。そのため、体系としての教育学を構成する教育諸科学のうち、教育方法学や授業研究に関わる領域を中心に、授業記録ビデオ等の具体的事例に即して学習を進める。あわせて、近年の教育改革に関する身近な具体的事例を、日本社会や制度としての学校教育の大きな変貌の中に位置付けながら理解できるようになることを目的とする。</p>					
到 達 目 標					
<p>☆教育方法学や授業分析に関わる基本概念を説明することができる。 ☆理解した概念を用いて、具体的な授業記録（ビデオ、文章）を分析することができる。（授業の問題点を指摘し、代案を示すことができる。） ☆相手によって、より分かりやすい表現を使おうとする態度を身につける。 ☆具体的な教育改革の事例を、より広い社会的な文脈の中に位置づけて理解し、説明することができる。</p>					
回	学 習 内 容				担当教員
1	教育の概念、理念と教育学の体系				滝沢 和彦
2	教育の方法(1)－授業分析の観点としての「教育内容」「教材」の概念				
3	教育の方法(2)－授業分析の観点としての「教授行為」「学習者」の概念				
4	教育の方法(3)－授業分析の実習①－「教育内容」「教材」に即して				
5	教育の方法(4)－授業分析の実習②－「教授行為」に即して				
6	教育の方法(5)－授業分析の実習③－「学習者」に即して				
7	教育の方法(6)－教師－学習者間におけるコミュニケーション言語				
8	教育の内容－教育内容論の新展開（「出力型授業」を中心に）				
9	教育評価論－評価の目的と類型、新たな動向				
10	教育改革の諸相(1)－「ゆとり教育」と「確かな学力づくり」				
11	教育改革の諸相(2)－「こころの教育」「いのちの教育」				
12	教育改革の諸相(3)－学校制度改革(学校選択制、中高一貫・小中一貫教育)				
13	教育改革の諸相(4)－学校と家庭、地域社会の連携				
14	まとめ－教育の公共性をどう考えるか				
15	試験				
学 習 方 法					
授業は、講義を中心に進めるが、学生自身による資料の収集や分析、討論、発表等も重視したい。					
評 価 方 法					
<p>[評価方法] 中間レポート20%、科目修了試験80%で評価する。</p>					
先 修 科 目					
教科書、参考書					
<p>教科書は使用しない。プリント資料等はこちらで用意する。 参考書は随時紹介する。</p>					